平成２３年度　二学期終業式　校長の話

平成２３年１２月２２日（木）

みなさん、こんにちは。

今日は「冬至」。一年中で最も昼が短い日です。そして、いろいろなことがあった今年も、あと１０日足らずとなってしまいました。

今年は、１月２６日（水）の新燃岳噴火、３月１１日（金）の東日本大震災、その後の原子力発電所の事故、そして、大雨や台風など、自然災害にみまわれ、日本中が大変な１年でした。その影響もあり、３年生にとっては、就職戦線が昨年度以上に厳しい状況でもありましたが、よく頑張ってきています。

このような中にあって、４年目を迎えた本校にとっては、嬉しいニュースが多かった１年でもありました。

※今年の秀峰の話題

①新体育館の竣工（２月）　②秀峰一期生が卒業（３月）

③農業科・福祉科が開科（４月）

④部活動等の活躍

・男女ハンドボール、男子新体操の県高校総体優勝

・ものづくり３部門優勝（旋盤、電気、木材）

・県高校情報処理競技大会の団体・個人優勝

・男子新体操の全九州体操競技選手権大会優勝

・ロボット競技県大会優勝

・科学同好会　・商業、福祉生徒意見発表

⑤男子ハンドボール　全国高校総合体育大会優勝「日本一」（８月）

男子新体操　全国高校総合体育大会　４位

機械部　全国高校ロボット競技大会　７位

二学期も、いろいろな面で、みなさんが活躍し、秀峰生の素晴らしさを見ることができました。午後の雨の中での体育大会や農業の販売実習も加わった文化祭などの学校行事。全国高校サッカー県大会ベスト 4 などの部活動の活躍。ボランティア同好会の「こばやし秋まつり」で薬物乱用防止の行進や福祉施設の行事等でのボランティア活動。そして、様々な資格取得や３年生は就職・進学の進路決定などにおいて頑張ってきています。修学旅行でも２年生は、素晴らしい行動で、いい体験をしたようです。本校生のよさ、素晴らしさが多く見られた二学期でした。「秀峰ブランド」が着実に確立されつつあることを感じます。また、それを見ている中学３年生の多くが本校を志望しようとしているようです。

しかし、まだまだ、改善してほしい、努力してほしいことがあることも事実です。新しい年を迎えるに当たって、４月から本年度これまでに私が話したことを振り返り、来年はどうあるべきかを考えてほしいと思います。

○一学期始業式・・・「学ぶ姿勢」を身に付ける
○入　学　式・・・・「日本一」を目指してほしい
「目標」「素直」「切磋琢磨」
○一学期終業式・・・「有言実行」
○二学期始業式・・・「やるべきことをしっかりやる」

みなさんには、もっともっと高い目標を持って頑張ってほしいと思っています。みなさんは、もっと伸びるだけの能力を持っており、それを生かして、大きく成長していってほしいと願っています。一人ひとりが自己改善の意識を高めることができるのではないでしょうか。

そこで、今年最後、みなさんに意識し心掛けてほしいことを話しておきます。

○基本的なことを大切にした生活を送る。

・生活面・・・あいさつ、服装容儀、言葉遣い、時間厳守、清掃
・学習面・・・基礎力のアップ、授業第一、自宅学習
・部活動等・・基本を大切にした取組

○行動を積み重ねることで、自信をつける。

基本的なことの大切さを自覚し、継続的な取組を心掛ける。

これらのことを意識して、これからの高校生活をさらに充実したものにしてほしいと思い話しました。冬休み、いろいろな計画があることでしょう。100名余りの人が、郵便局のアルバイトも行ないます。働くことの意義や厳しさ・楽しさなど、将来に役立つ経験もしてください。ぜひ、有意義な冬休みを過ごし、元気に、意欲に満ちた、新年をそして三学期を迎えられるよう期待しています。